2026 年度順天堂大学一般選抜 A 日程
「世界史」入試問題　出題意図

第 1 問

A）第一次世界大戦はヨーロッパを主戦場とし、まさに「西欧の没落」の序章であった。そこで戦後、西欧列強の強い影響下にあった各アジア地域では、国民国家形成の機会を得ることになった。この中で、オスマン帝国解体後のトルコの近代化、インドの独立運動、日本・中国間の諸問題についての理解を測る問題である。

B）第二次世界大戦後、米ソ二極構造が生じ、冷戦の時代に突入した。この中で、アメリカ合衆国内の公民権運動、また国際平和への努力についての理解を測る問題である。

第 2 問

イスラーム教の成立と、後の世界的拡大を概観する。この中で、ウマイヤ朝・アッバース朝等のイスラーム諸王朝による歴史的展開について、短文正誤形式により、正確な知識と理解を測る問題である。

第 3 問

中世西ヨーロッパ世界は、キリスト教的封建社会と説明される。農工商業が発展することで、この社会が変容する。さらに絶対主義時代への過程で、教皇不謬性が失われていった。この歴史展開についての理解を測る問題である。

第 4 問

様々なアジア諸文化の背景を持つムガル帝国の成立、その 19 世紀半ばにおける滅亡の過程を概観する。この中で、宗教・文化の変遷、またイギリス東インド会社の支配・展開・終焉についての理解を測る問題である。

第 5 問

フランスの近代国民国家形成について概観する。この中で、革命の勃発・展開、その後のナポレオンの台頭・没落、また当時の国際関係についての理解を測る問題である。